

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

3 年 3 組		指導者	〇〇〇〇	教科等	外国語科
単元	単元名等	日本のお菓子を A L T に紹介しよう（関係代名詞：主格）			
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>		
	知識及び技能	知識・技能	○関係代名詞（主格）に関する事項を理解している。 ○関係代名詞（主格）の意味や働きの理解の基に、チョコレートの歴史について読み取る技能を身に付けている。【読むこと イ】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆チョコレートについて書かれた英文を読んで、人やものを詳しく説明するために、チョコレートの知られざる歴史やフェアトレードの製品について概要、要点を捉えている。		
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○チョコレートについて書かれた英文を読んで、人やものを詳しく説明するために、チョコレートの知られざる歴史やフェアトレードの製品について概要、要点を捉えようとしている。		
	単元の学習展開（全 8 時間）				
	導入	□単元の計画を立て、学習の見通しをもつ			
	展開	□教科書本文を読んで概要や要点を捉え、自分の感想も加えながらリテリングをする			
	終末	□単元全体の学習を振り返り、日本のお菓子について A L T に伝える			

本時 （3 / 全 8 時間）	ねらい	チョコレートの歴史の対話文について、自分のチョコレートに対するイメージ等と読みとった歴史的な事実の違いを比較することを通して、概要を捉えることができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆思考・判断・表現 ワークシートの記述】）	
	学習過程	「めあて」 「チョコレートの歴史についての対話文を読んで、初めて知ったことをまとめよう」	
		「振り返り」 「チョコレートは甘くておいしいお菓子だけど、昔はそうじゃなかったとわかった」 「思っていたの(sweet)と反対の語(bitter)が出てきたし、チョコレートが薬だったと知ってびっくりした」 「チョコレートはなんで貴重だったのだろう」	
	努力を要する状況の児童生徒に	【予想されるつまずき】 主人公たちの考えや思いとチョコレートの歴史に関する内容とが区別できない 難易度の高い単語や新出の文型等で読み進められなかったり、一文一文を細かく訳そうとしたりする	【必要な支援・手立て】 ・主人公たちはスピーチの準備をしているという状況をはっきりさせる ・チョコレートについて書かれている英文に、線を引かせる デジタル教科書の動画(本文内容のアニメーション)を再度見せ、主人公たちの会話の流れを視覚的に確認させる